

あなたの大切な
自然や歴史的環境を
のこすには

ナショナル・トラストの手引き

はじめに

東京と埼玉の境に連なる狭山丘陵の、首都圏では貴重な広がりを持つ自然が壊されてゆくのをなんとかくい止めたい、ここは「となりのトトロ」のシーンそっくりの懐かしいみんなのふるさとなのだから、と思い立った人たち。千葉県M市の市街化区域にお父さんが遺した小さな森を、高額な相続税のために、これ以上持ちきれないと悩むSさん。

これを残す方法はないだろうか、とは誰もが考えることです。

1960年、70年代の宅地造成ブーム、80年代から90年代のゴルフ場やリゾート開発ブームで、身近に慣れ親しんだ風景と自然、古い由緒ある町並みと建物がどんどん消えていきました。その波に抗して土地や家屋の所有者が残したいと思っても、税金や維持費を考えると個人には不可能にも思えます。けれどもそうしたなかで、おおぜいの個人がお金を出し合って、地主さんと力を合わせて、また行政も巻き込んで、保全に成功した例が今ではかなりの数になりました。

ナショナル・トラストという、この運動が全国に広がってすでに四半世紀を経ようとしています。しかし問題は次々に生じ、これから取り組まなければ、と考えている人も少なくありません。その人たちのために、先に始めた人々の体験や知恵と、現在有効だと思われる具体的な手段のあれこれをこの小さな冊子にまとめました。ナショナル・トラストについては、小冊子「WHAT IS NATIONAL TRUST? ナショナル・トラストの話」に詳しいので、併せてお読みいただくと便利かもしれません。始めるのは難しく、考えなければならぬことがたくさんありますが、まず、やってみましょう！

次の世代に大切なものを引き継いでもらうために。